

vol.2

Quarterly Report

四半期活動レポート(2021年1月-3月)

Fukuoka
Smart City
Community

CONTENTS

四半期活動レポート (2021年1月-3月)

P. 01 > **Fukuoka Smart City Community**について

P. 02 > **進捗のご報告**

① **福岡みんなで防災プロジェクト**

P. 03 > **1** 福岡市LINE公式アカウントの「交通・インフラ情報」へのアクセス強化

P. 04 > **2** FSC会員企業と福岡市が一丸となって防災を啓発

P. 05 > **3** 市民からの声を集め、災害に強いまちづくりに活かす

② **飲食店向け支援策** (会員企業オフィスでのお弁当販売)

P. 06 > **その他の共創プロジェクト**

P. 07 > **定例での活動について**

●全体会議(毎月1回)

●「プロジェクトF」

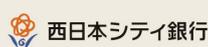


Fukuoka Smart City Community

Fukuoka Smart City Community について

強固な協力体制で自然災害や感染症への対応レベルとスピードを上げ、レジリエンスの高いまちを実現する

「Fukuoka Smart City Community(以下 FSC)」は2020年10月、LINE Fukuoka 株式会社を発起人とし、福岡を代表する異業種9社で協働、福岡市をオブザーバーに迎えた共同事業体として発足しました。この共同事業体を通して、福岡市を、行政・市民・企業の枠組みに捉われず、解決したい人・解決できる人が互いに協力し合って速やかに問題解決する、「日本で最も課題解決の早い、スマートシティ」へと変化させ、「100年先でも、選ばれるまち、Fukuoka」を目指しています。



※福岡市はオブザーバーとして参画

大テーマ	中テーマ	小テーマ※
市民と共に行う、 レジリエンスの高い まちづくり	感染症流行下での変化に しなやかに対応できるまち	● 飲食店支援（継続） ● 上記以外のテーマでの支援
	自然災害に素早く対応、 復興できるまち	自然災害への 事前・最中・事後対応

※その他、福岡市民の課題解決に資すること

福岡市を含む九州地域では、近年、地震や台風による災害被害が続いています。また、感染症の流行は、市民の行動や意識も大きく変えるきっかけとなりました。我々会員企業は、そうしたその時々が発生する市民の課題を、個々の企業や団体同士での協業以上にスピード感を持って解決することを目指し、共同事業体を通して各施策の検討と実施を進めています。

進捗のご報告

1

福岡みんなで防災プロジェクト

■市民・企業・自治体が一丸となって取り組む「防災プロジェクト」を始動

登録者数約176万人の福岡市LINE公式アカウントの「交通・インフラ情報」へのアクセスを強化し、災害時の市民による情報収集をサポート。



▶プロジェクト概要

2021年3月9日より福岡市LINE公式アカウントの「交通・インフラ情報」へのアクセスを強化し、市民に向けて災害時の情報収集力強化を呼びかける「福岡みんなで防災プロジェクト」を開始しました。本プロジェクトは、3月20日の「市民防災の日」に向けて準備を進めていたものでしたが、2月13日深夜に発生した福島県沖地震において、交通や電気・水道等のインフラにも影響が出たことを受けて、機能改修の予定を前倒して発表したものです。

「-災害に強い街へ-と言っている間に、たぶん災害は起きてしまうから。福岡は、みんなで対応しました。」をメインメッセージに掲げた、市民・企業・自治体が“みんなで”取り組む企画です。

背景課題/ニーズ

- 東日本大震災から10年の節目となる2021年。2月13日深夜に発生した福島県沖地震をはじめ、全国的に地震が頻発している
- 地震などの災害時には、交通や電気・水道等のまちのインフラ機能に影響が出ることがある^(※)
- 災害時に「交通・インフラ等の情報」が易く調べやすい状態にあることは市民にとって重要である

実施事項

- 1 福岡市 LINE 公式アカウントの「交通・インフラ情報」へのアクセス強化
- 2 FSC 会員企業と福岡市が一丸となって防災を啓発
- 3 市民からの声を集め、災害に強いまちづくりに活かす

※2月13日深夜に発生した福島県沖地震においても交通や電気・水道等のインフラにも影響が出たと報道され、SNSでも関連する多くの発信があった。

▶ 実施事項と進捗サマリー

同じメッセージを同時に発信し、各会員企業とつながりがある市民にお知らせをするという、共同事業体としてのスケールメリットを活かした企画となりました。

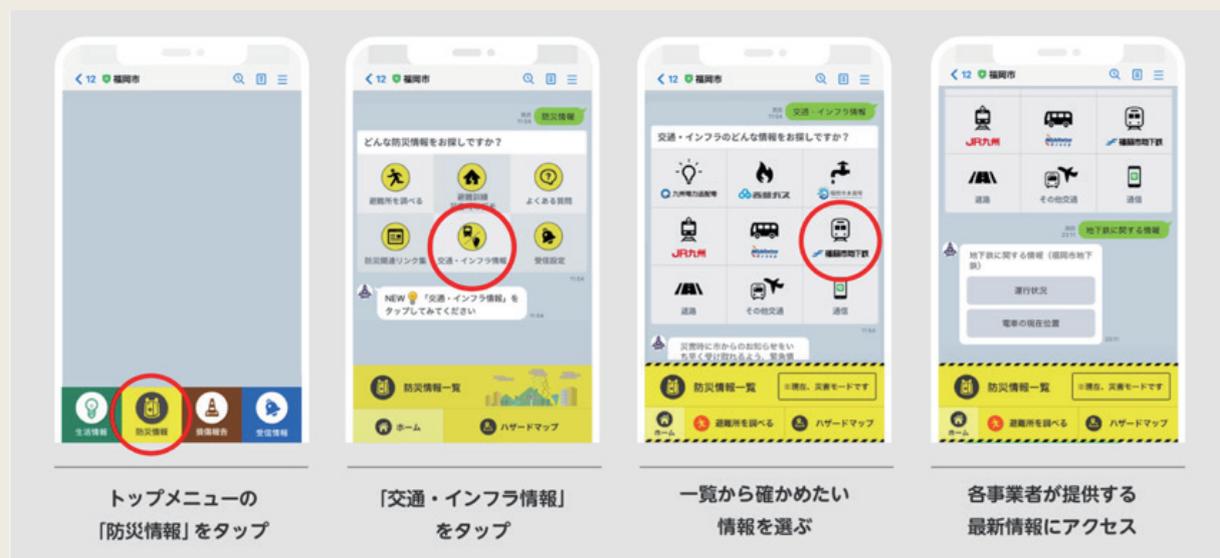
実施事項	進捗サマリー
<ol style="list-style-type: none"> 1 福岡市 LINE 公式アカウントの「交通・インフラ情報」へのアクセス強化 2 FSC 会員企業と福岡市が丸となって防災を啓発 3 市民からの声を集め、災害に強いまちづくりに活かす 	<ul style="list-style-type: none"> 1 会員企業と福岡市、合計10のLINE公式アカウント等から一斉に防災メッセージを発信 2 特設サイトのPV数40,000以上 3 SNS上では「#福岡みんなで防災」でも企画に賛同する声が多数発信されている※

※「市民・企業・自治体と、福岡市が手を取り合った素晴らしい取り組みだと思います」「企業と自治体が連携した情報体制はとても有益だと思います」「災害時の情報がLINE で一括確認出来るの便利です」等

▶ 実施事項詳細

1 福岡市LINE公式アカウントの「交通・インフラ情報」へのアクセス強化

福岡市で大きな災害が起きた場合を想定し、福岡市LINE公式アカウント(LINE ID:@fukuokacity)の「交通・インフラ情報」を見つけやすく、調べやすく改修することを企画しました。改修後は「交通・インフラ情報」の最新情報のリンクが一覧になり、トップ画面から2タップで簡単にアクセスできます。企業や自治体が最新の情報を発信し、市民の皆さまに自ら情報を確かめていただくことで、「福岡みんなで」まちの防災力、災害からの復旧力を大きくすることがねらいです。



▲「福岡市LINE公式アカウント」機能改修後の画面イメージ
 ※「福岡市LINE公式アカウント」友だち追加リンク <https://lin.ee/mMJQICN/prmt/riri/fcoa>

2 FSC会員企業と福岡市が一丸となって防災を啓発

「#福岡みんなで防災」をスローガンに、FSC会員企業と福岡市(オブザーバー)が一丸となって2021年3月9日より災害時の情報収集力強化を呼びかける啓発キャンペーンを実施しています。

啓発キャンペーン概要

期間	2021年3月9日～
取り組みの内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 福岡市と各社のLINE公式アカウント、キャンペーンサイト、各社のオウンドメディア等から防災を呼びかけるメッセージを発信 2 キャンペーンアンバサダーとして HKT48 が就任

キャンペーンサイト URL <https://fukuoka.smartcity-community.jp/bousai/202103/>

1 福岡市と各社のLINE公式アカウント、キャンペーンサイト、各社のオウンドメディア等から防災を呼びかけるメッセージを発信

3月9日午前、福岡市LINE公式アカウントやFSC会員企業のLINE公式アカウント、公式SNS等から「福岡みんなで防災プロジェクト」についてお知らせしました。福岡市やインフラ・交通関連企業だけでなく、銀行、商業施設、ホームセンターなど FSC会員企業が展開する幅広いサービスのユーザーにメッセージを届け、より多くの市民への防災意識の向上を図り、災害に強いまち福岡を目指すねらいです。

合計 10 のLINE公式アカウント等から一斉に防災メッセージを発信



▲ 会員企業・団体からの発信内容

2 キャンペーンアンバサダーとして HKT48 が就任



身近な人と防災について会話したり対策をしたりするきっかけとなることをねらいに、キャンペーンアンバサダーにHKT48に就任していただき、メッセージ動画等を発信しています。

3 市民からの声を集め、災害に強いまちづくりに活かす

災害に強いまちを”福岡のみんなで”作って行くため、今回のプロジェクトを体験したユーザーを対象に事後アンケートを実施。集まった声は、福岡市 LINE 公式アカウントの今後のサービスや FSCの施策に活かしてまいります。



▲「福岡市 LINE 公式アカウント」アンケート画面

▶ 今後に向けて

共同事業体としてのスケールメリットを活かした今回の企画でしたが、特設サイトへの訪問数は約4万と、福岡市の人口約160万人(※)に対してはまだ伸びしろがある状況です。今後も市民・企業・自治体が一丸となって同様のプロジェクトを継続していくことが重要であると考えています。

※出典：福岡市 (<https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/tokeichosa/shisei/toukei/jinkou/jinnkousokuhou.html>)

2

飲食店向け支援策(会員企業オフィスでのお弁当販売)

福岡市における「飲食店のコロナ禍における対応のあり方」は向き合うべき重要な課題のひとつであると捉え、飲食店の販売機会の拡充施策を継続して実施中。



会員企業のオフィスでのお弁当販売 (LINE Fukuoka株式会社オフィス)

2021年2月より、会員企業オフィスでのお弁当販売を実施中です。販売開始以降連続して目標完売率を達成しており、社員向けアンケートでも満足度90.9%(※)と好評のため、継続を検討中です。

※LINE Fukuoka 株式会社実施社員向けアンケート(2021年3月)における、購入者の満足度評価

その他の共創プロジェクト

■九州新幹線全線開業10周年「輝け!みんなの九州プロジェクト」

(九州旅客鉄道株式会社/株式会社西日本シティ銀行/LINE Fukuoka株式会社)



「JR九州」LINE公式アカウントで願いごとを一般募集し、その中から777個の願いごとを新幹線にラッピング。3月14日(日)に「流れ星新幹線ビューイングイベント」にて一夜限りの特別運行を実施しました。全国から寄せられた応募は全部で8,350通。全ての願いごとは、3月17日(水)に太宰府天満宮にて祈禱・奉納されました。



定例での活動について



▶全体会議(毎月1回)

会員企業の担当者全員が一堂に会する全体会議を毎月1回実施。各社のアセットや知見を共有しながら、注力テーマに沿った企画や具体的な施策案についてディスカッションを行なっています。1-3月期には以下の日程にて実施しました。

● 1月6日(水) ● 2月3日(水) ● 3月3日(水)

▶「プロジェクトF」

毎月の全体会議にて、各社持ち寄りで見聞を共有するプロジェクト。テーマは各社自由。1-3月期には以下の企業が発表を行いました。

●1月:LINE Fukuoka株式会社「LINE公式アカウントについて」 ●2月:福岡空港株式会社「もっと、空港を身近に」
●3月:西部ガス株式会社「西部ガスグループの新規事業の取り組み紹介」

市民を取り巻く環境が目まぐるしく変化する昨今において、課題解決を行うための鍵は、「0→1で何か新しいサービスを創り上げていくこと」よりも、会員企業が持つ「既存のアセットやデータを有効活用し、スピード重視でアウトプットしていくこと」であると考えています。今後もFSCでは、強固な協力体制で自然災害や感染症への対応レベルとスピードを上げ、レジリエンスの高いまちづくりを行ってまいります。

〈Fukuoka Smart City Community 概要〉

名称／Fukuoka Smart City Community

事務局所在地／福岡県福岡市博多区博多駅中央街8-1 JRJP 博多ビル 12F

設立日／2020年10月14日

主な事業内容／市民参加型のスマートシティの実現に向けた、情報収集、情報共有、相談、イベント開催、サービス提供・開発及びPRの機会の提供

サイト／<https://fukuoka.smartcity-community.jp>